

「コンクリート構造物の品質確保・向上の手引き(案)」使用にあたって

■手引き(案)の特徴

コンクリート構造物の品質を確保し耐久性を向上させるためには、設計、材料、施工、維持管理の建設プロセスの連携が重要となります。

そこで、設計、材料、施工、維持管理の各建設プロセスの個別かつ一連の建設プロセスにおける技術的な留意点(ポイント)をとりまとめ、手引き(案)を作成しました。手引き(案)は、【基本原則編】、【材料編】、【設計編】、【施工編】、【施工編(監督・検査)】、【維持管理編(巡回・巡視)】の6編から構成されています。

なお、この手引き(案)は、鉄筋腐食防止の観点から主に「ひび割れ抑制対策」、「かぶり厚確保」、「充填不良対策」の3つの項目を中心にとりまとめています。また、チェックリストの作成により、各建設プロセスの技術者の責任の分担の明確化を図っています。さらに、今回の改訂では、かぶりコンクリートの品質確保・向上に有効な現場取組みを整理した上で、実証実験を行いました。その実験により有効性の認められた取組みやかぶりコンクリートの品質確認方法を、「手引き(案)」に新たに追加しました。

これを設計、材料、施工、維持管理の各建設プロセスに関わる技術者の方々が、十分理解され活用頂くことにより、新設コンクリート構造物の品質が確保され向上することにより、ひいては長寿命化につながることを期待するものです。

■使用にあたっての注意事項

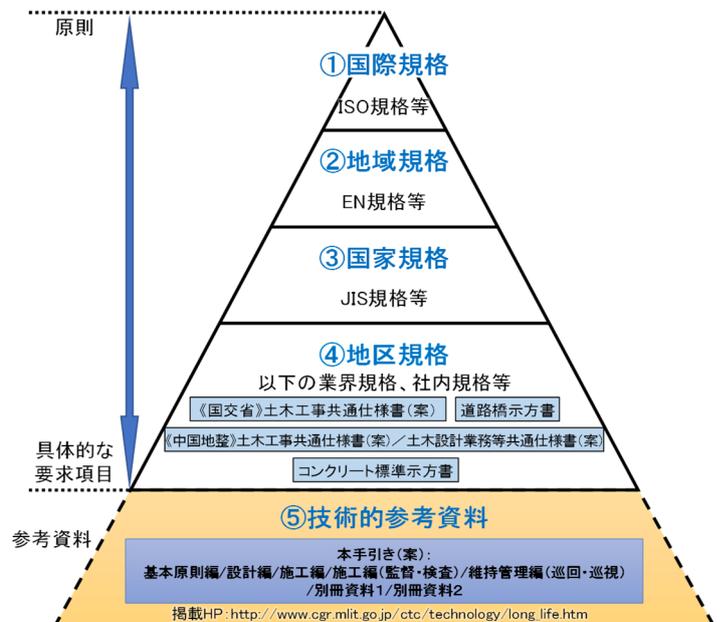
○対象構造物

新設の橋梁等やその他の鉄筋・無筋コンクリート構造物を対象としています。
(ただし、PCや舗装、ダムなどの特殊なコンクリート構造物を除く)

○手引き(案)の適用

手引き(案)の使用にあたっては、右図に示す技術的参考資料としての位置づけであることをふまえて、活用される上での参考としてください。

手引き(案)の内容は、既存の共通仕様書等の内容を分かりやすく説明したものです。【基本原則編】の「かぶりコンクリートの品質向上」、【設計編】の「ひび割れ抑制対策」「充填不良対策」「かぶりコンクリートの品質向上」、【材料編】の「ひび割れ抑制対策」「充填不良対策」、【施工編】の「温度ひび割れ抑制対策」「かぶりコンクリートの品質向上」、【施工編(監督・検査)】の「かぶりコンクリートの品質向上」については、共通仕様書等の内容を一部超えたところがあります。



- ①国際規格:世界中の国々で共有して使用される規格(ISO規格、IEC規格等)
- ②地域規格:ある地域の国々の中で共通して利用される規格(EN規格等)
- ③国家規格:主に一国内で使われる標準(JIS規格等)
- ④地区規格:一つの業界や一つの企業内で使う標準(業界規格、社内規格等)
- ⑤技術的参考資料:④以上の上位の規格を補完する技術的な参考資料

図 本手引き(案)の位置づけ